

日本工学院専門学校	開講年度	2020年度	科目名	演技研究Ⅰ	
科目基礎情報					
開設学科	声優・演劇科	コース名		開設期	前期
対象年次	1 年次	科目区分	必修	時間数	60時間
単位数	4 単位			授業形態	講義
教科書/教材	台本・台詞原稿・パワーポイントデータ等を使用。参考資料として「立ち位置の法則」				
担当教員情報					
担当教員	オーハシヨースケ・平野真悟・城田浩司・佐々木彩		実務経験の有無・職種	有・俳優	
学習目的					
役者が行う演技・演劇とは、「人間」を演じることである。様々な個性・感性・考え方を持つ他者と会話をし、理解し合うことで、コミュニケーションスキルを身につけると同時に、「人間」を研究し、知ることによって演技の幅を広げていきます。また、作品鑑賞・オーディション講座を通して、他者からの見られ方を研究し、セルフプロデュース力を高めます。					
到達目標					
全員と会話をする。グループワークを通して、協調性を養う。相手の状況・立場を考えながら、自分の意見を話すことができるようになる。演技パターンを増やし、広げていく。対策講座を経て、オーディションに臨む心構えを学び、プロフィールの完成を目標とする。					
教育方法等					
授業概要	この授業では、グループワークを多く取り入れる。前期前半は、コミュニケーションスキルの向上を目指し、後半では、オーディションに臨むための知識を習得、実演する。後期では、業界研究・作品鑑賞を通して、演技の幅を広げ、エチュードを使って稽古・発表を行う。				
注意点	遅刻・欠席をしない。自発性・主体性。他人への思いやり。 授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	平常点	70%	積極性や協調性など、授業への取り組み方を評価します。		
	レポート	30%	振り返りレポートを作成することにより、自身の成果を確認します。		
授業計画（1 回～1 5 回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1 回	心の中のコトバとフェルトセンス		コミュニケーションにおける「心の中のコトバ」の重要性を体感的に知る		
2 回	コトバの実験		非言語的コミュニケーションが「9 0 %」を占めることを実感として知る		
3 回	あなたは世界のどこに立っている		物語と立ち位置の関係を知り、自分の立ち位置を自覚する		
4 回	カラダが言葉を裏切る時		ストレートプレーのことばと不条理のことば、コトバとカラダの関係を知る		
5 回	傾聴と人生の歩き方		自分を身体的に知る		
6 回	真実と攻撃的なコミュニケーション		攻撃的コミュニケーションと非主張的コミュニケーション、アサーションを知る		
7 回	コーチングのコトバ		日本のコーチと欧米のコーチ、何が違ったのか？ 自分自身が自分のコーチとなるために		
8 回	ダイバーシティコミュニケーション		なぜ日本人は議論的でないのか？ ダイバーシティとコミュニケーションの関係を知る		
9 回	コミュニケーションスキルまとめ		これまでの授業を振り返り、自身の成果を確認します		
1 0 回	ヴォイスサンプル講座①		スタジオマナーの習得。スタジオ収録に向けた準備プロセスを学ぶ		
1 1 回	ヴォイスサンプル講座②		収録時の雰囲気を知り、緊張感を体感する		
1 2 回	オーディション対策講座①		プロフィール作成に向け、自分を知り自己演出方法を探る		
1 3 回	オーディション対策講座②		ファッションメイクなど、コーディネーターから全般的な知識を得る		
1 4 回	オーディション対策講座③		大勢の前で、自己演出を発表する		
1 5 回	オーディション対策講座④		まとめ。プロフィール写真を撮る。撮影の雰囲気を体感する		